

上島町岩城中三年 村上 雄祐

村田兆治さんはじめ、野球のご指導をして
くださった方達、スタッフの方、離島甲子園
では、お世話になりました。そして、ありが
とうございました。

離島甲子園では優勝でき、とてもうれしか
つたです。総体が終わっても、ここまで野球
を続けてきてよかったと思います。僕は、野
球は上手いほうではありませんでした。小学
校の時は、いつも補欠でした。そして、中学

上島町立岩城中学校

校では野球部に入り、今まで一生懸命練習し
ました。そして、その成果がこの試合で出て
本当にうれしかったです。僕は、この大会は、
8番レフトで一試合目の途中から出さしても
らいました。この時、一回エラーをしてみました。
い、それを相手の得点に結びつけてしました。
この時、またエラーしてしまふのはと思っ
てしまい、とても不安でした。たけど、り
ドしていたので、そのまま勝ち、二試合に出
れるようになりました。二試合目、中学三年

の最後の大会だと思ひ、不安をかつ消しての
ぞみました。昨日と同じ打順とポジションで
試合に出ました。一打席目、ライアウト、
二ナ一無しで、二ストライクになり、打つと
それが三塁打になりました。セフトが少ない
自分が三塁打を打てて、とてもうれしかった
です。それが得点に結げたのでうれしかった
たです。

三試合目、はっきりに言つてレベルが全然違
う学校とでした。〇対〇で7回表、打線がフ

なかり一点得ることできました。そして、裏
の相手の功撃を守りぬき、勝てたのでとても
うれしかったです。

決勝戦。〇対〇が続くなかで途中雨が
降り中止になつてしまいました。少し心残り
ですが結果優勝というところでうれしかったです。
この大会でたくさんのお話を学ぶことがで
きました。本当にためになり、楽しくできて
よかったです。本当にありがとうございます。
た。

岩城中三年 村上 晃平

三回目の離島甲子園は地元上島町で行いま
した。大会の前から地域の人々がとても応援
してくれてとてもうれしかった。港をびに
は大会の旗がたぐさ人ありとてもわくわくし
た毎日でした。しかしこれだけ応援してく
れていふのに試合に勝つたうかやう不
安もありました。

大会初日ほくたちチーム上島は三宅島のチ
ームと戦い二十七対三で快勝とてもいい流れ

で二回戦に進むことができました。

二回戦は西ノ島のチームと戦いました。

くは二打席ともとてもいいバツテ

インゲができました。一打席目はセンとろ

ハッターで塁に出ることができ二打席目はチ

ャンスを逃がしランナーをかえし三打席目はホ

ームランを打つことができました。キャツ

チャーでも大きな声を出してとてもいい結果で

した。

三回戦は、壱岐市選抜と戦いました。壱岐

は打力もあり、そしてエアースカとともいいので試合はいろいろあった。思いやりは打撃の方では一番ハフターが、二三振と本場に悔しかつた。しかし、守備では打撃で二三振した。ミスを吹き飛ばすようになった。打撃が、やはりまりました。そして試合は、エースの伊織が、みんをの守備が、とてもよく七回まで無失点でした。そして、何回もありました。したがって、守りぬきました。七回表に、一つのチャンスかきました。そして、その一つのチャンスを

逃がさず、ようやく一点を入れました。この試合と、した試合は、百回中、一回できればいい試合でした。その百分の一を、この大会で出せた。ここには、本当に、ぼくたちは、すごいと思いましたが、三年生も、後輩たちも、本堂に自信が、ついたら、思いやりです。地元で優勝でき、とてもうれしいです。そして、地域の人の、思い返しが、できるとも、うれれ、し、この大会を、開いてくれた

村田 兆治さんに本当に感謝してります。本当
にこの大会を閉いてくださりありがとうございます。
いきました。

行くは高校に行つても野球を続けます。こ
の大会を通してとても野球が楽しくなりました
夫。高校野球をききも厳しいけど7人先
発完投しを心かけて一生懸命がんばりたいと
思います。またこの大会ではぼくは感謝
というこを改めて学びました。今まで使つ
たグローブ、スパイクをばがランドろして

先生や地域のみなさんそしてここまで育ててくれ
た家族に本当に感謝の気持ちでいっぱいです。
本当にありがとうございます。ございました。

地元の力

岩城中学校

三年

林

海斗

第四回目は、地元上島町で離島甲子園を行うことができとてもよかったです。今回の大会をもつてぼくたちのチームは解散という形になってしまつと同時に、三年生は最後の試合でもう一緒になつて試合をするのも最後という全てが最後になるという事で、ぼくを含めみんなが三試合でも多く試合をしようと思ひ離島甲子園に臨みました。

上島町立岩成中学校

抽選会で、岩城で試合ができること決まつた瞬間ともうれしいのと絶対に勝たなくてはいけないという両方の気持ちがありました。一番苦しんだ試合は、準決勝の巻岐戦です。なかなか点を取る事ができず両者ともに一点もゆずらない緊迫した空気が続きました。そんなとき、きんこうを聞いたのが二年生でした。ノーアウトで出塁したのでチームのベッチがかなり盛り上がりました。バントでラナーを二塁に置いて三年生が決勝打となる

一打を放ったのです。今でもあのときの感動
を忘れられません。相手は強いチームでも最
後まで勝ちたいと思いつづけ見事勝つことが
できました。やはり野球は、やっておかないと
わからないと改めてわかりました。ここまで
いい試合ができたのも、地元の方たちの声援
があったからだと思います。やはり、アウエ
ーとホームでは、試合をやっけてもとても
やりやすかった。雨の中一生けん命応援して
くれた地元の人たち、役場の職員の方たちに

上島町立岩城中学校

上島町立岩城中学校

感謝したいです。来年は、人数を集めてハ丈
島で後輩たちにかんばってもらいたいです。
あきらめてはいけないうのを改めて感じ
てとてもいい経験になりました。今後は、
クロープとボールをパンに持ち変えがんばり
たいと思います。
本当にありがとうございました。

浪本春暉

今年の難島甲子園はついに優勝することか
でまてとてもうれしかつたです。ぼくはほと
んどなにもしていなけれど手前らのみんなど
がんばり、優勝することかできてもいいと思
い出になりました。

まづ一回戦では三宅と戦い、二十七対三と
りう結果でよゆうで勝ちました。しかし、ぼ
くはまったく打てませんでした。その時はみ
んなはけっこう打っていてホームランが何本
もぞました。ぼくは次こそ打とうと思ひまし

た。二回戦は西の表でした。この日も打てま
せんでしたが二対四で勝ちました。そしてい
よりのよ三回戦、対戦校はなんと壱岐とでし
た。ぼくは相手がどこだるうと絶対には勝ち、決勝
へ進もうという気持ちで試合をしました。試
合は接戦でどちらにも点をとれませんでした。
壱岐はとても強く、ハツティンガもすごかつ
たです。ぼくも壱岐の選手に負けずに打席に
立ちました。が、まうたたく打てませんでした。し
かし、最終回、七回表、ニアウトランナーニ

翌、五番の田名後海人さんが打ち、一対の
にしました。あの時の喜びは今でも忘れられま
せん。リヤニこれからも忘れたいことはいいで
しよう。そして試合は一対ので勝ち、いよいよ
よ決勝に進みました。決勝は久米島でした。
しかし、この日は雨でした。しかし、試合は
はじまりました。そしてこの日、ぼくは今年
の離島甲子園はじめてセンター前ヒットを打
ちました。それにこの日、千円のの中で一番
に打つことができました。しかし、雨がけっ

こうぶつてきて、試合は中止になりました。ヒット
がむだになりました。しかし、両千円の優勝
となったのでうれしかったです。
最後の最後でいい思い出さくることがで
きました。こんないい思い出さくれたのも
この大会を開いてくれた村田北治さんや応援
してくれた地域のみなさんのおかげです。それ
にまさかりドリールズのみなさん。ぼくたちの
ために野球教室を開いて下さることを敬
えてくれありがとうございます。うござりました。ぼくは

離島甲子園

田名後 海人

今年の離島甲子園は、地元の上島町でおこなわれた。去年は、種子島でおこなわれ、一回戦で負けてしまった。そのくやしさを胸にこの大会ではいい結果を出したいと思っ

た。一回戦は三宅島との試合だった。二十七対三で勝ったが、一回に三点を入られ守備がガツになっ

上島町立岩城中学校

上島町立岩城中学校

た。ぼくは、一打席目で甘い球を見逃すことなくレフトにヒットを打った。それができた。ピッチの場面が何回かあったけどそれを乗り切ることができたので、一回戦のときの守備を改善することができた。そして準決勝相手は竜崎。これまでの試合を見ていてものすごく強いチームだとはわかっていった。実際やってみると打線は抑えこまれヒットはわずか一本だった。六回まで、何度もあったけど手を止めた。最後の攻撃。打順は二番がら打った

打球はニヨートへそれをニヨートがエラー。
三番がキッちリ送りニ死ラニナリニ田子の場面
で自分に回って来た。何かすがー緊張したけ
ど自分の一番苦手としている了ウトコースを
打っていた。そして二田エラニアが帰り一点
をとった。七回表の守備につくとエラニアに考えて
みたら、頭の中が真ッ白より真ッ黒に逆いよ
うに感じた。結果一対ゼロで勝つことができ
た。決勝は雨でなくなり同時優勝となった。
優勝ができたのはスタツツの人たちや、手伝

上野町立百成中学校

上野町立百成中学校

いをしてくれた女子の人や応援をしてくれた
町人のみなさんのおかげだと思ふ。だからし
かりと感謝していきなりたい。

正直、離島甲子園の抽選会まで出場すると
K A M I J I M A 幸本 伊織

という実感が無かった。地元で行われるため、

練習も当日までできたので気持ちが大変楽だった。

三年なので最後の大会となった。今大会は、

選手宣誓等、忙しい毎日だった。そのために、

いつも緊張していたが、三日目が一番緊張し

た。

この日は勝ち上がりは計二試合することにな

なる。一試合目は、西ノ表のチームと戦った。

二試合目の吉岐選抜は実力的にかなり上だ

点が少ししか取れず逆点もある試合だった。

苦ししい展開もあったが、うにか勝てた。た

ていた。私の試合を見てもらなぐう打っ

た。前の試合を見ても穴がないぐう打っ

ほとんどの回ランナーを出されていった。しか

し、選抜だから、この欠点が相手にあったと

思う。そのため、苦しいながうごうにか勝て

た。地元でプレイしていろいろと、うごも大き

かったと思う。正直、他の所でやっていたら

う

完敗だったと思う。慣れたグラウンド。そして一番は地元の人々の声援。それらがなければ勝てていなかっただと思う。

二の離島甲子園では優勝することができた。課題であった野球を撃しおこことができた。さらに村田兆治さんからはたくさんアウトパイヌをいただいた。野球を続けたい。

うなぎ持子さんがより一層増しました。

このようないいになれたのも、この大会がもってこそ。本当に大会の関係者の方々にも

上島町立若成中学校

上島町立若成中学校

感謝してます。地元の方々へも感謝しなけれはならないなと思います。ただこれからは離島球児の成長の場として何年も続けてもらうたいなと思います。

自分に自信をもつことができたし、夢や希望を与えて下さった。そして、同じ離島に住む球児を見て、負けられぬという気持ちをもつことができた。将来のためものをたたくん得ることもできた。本当にありがとう。

負持ちたてはうこそか分りました。そして
 試合は、このていう勝利を納めました。この
 試合は、このては、い、い、勉強になりまし
 気持ちの強、い、方、か、物、手、が、成、功、し、や、す、い、と、い、う
 ことです。い、さ、な、僕、に、と、つ、て、最、高、の、こ、と、を、し
 て、くれ、ま、し、た。そ、し、て、決、勝、戦、は、雨、で、中、止、と
 なり、優勝は、久米島と同時優勝でした。ど、さ
 れ、だ、し、た、い、も、の、で、し、た。僕、の、あ、ん、ま、り、知、ら、な
 い、人、に、話、す、の、は、苦、手、だ、け、で、ご、め、ん、を、食、べ、る
 時、々、で、に、話、す、こ、と、か、で、さ、て、い、い、機、会、で、し、た。

上農町立岩城中学校

上農町立岩城中学校

久米島の口笛には驚きました。ふ、つ、う、の、口、笛
 も、で、き、な、い、の、に、あ、ん、な、こ、と、か、で、さ、て、か、こ、い
 い、と、思、い、ま、し、た。離島甲子園は、て、も、い、い、思
 い、で、に、な、り、ま、し、た。仲間との絆、か、さ、ら、に、深、ま
 っ、て、良、か、つ、た、で、す。こ、れ、か、ら、な、交、渉、に、向、け、て
 負、け、に、か、ん、だ、る、心、を、常、に、意、識、し、て、行、き、た、い
 と、思、い、ま、す。

離島甲子園を終えて

二年 山本 健太

ぼくは、今回の離島甲子園で気付いたことがたくさんあります。

一つ目は、たくさんの方々が応援してくれて、いることです。ぼくは今まで上島町でチムッ K A M I J I M A を知っていた人は少ないと思います。でも、今回の地元開催の離島甲子園では、たくさんの方々が試合を見に来てくださって、いました。試合の前

には

ッががんばるよ

と声をかけてくださった方もいました。一試合

合目は、ぼくは代打で出てヒット一本だった

けど試合が終あつて

ッナイスバツテイソング!

といつてくださった方もいました。ぼくは、今

回の離島甲子園でたくさんの方々が知っている

そして、応援してくれていることを実感します

した。応援している人に感謝しながらプレイ

しよいきたいと思います。

二つ目は、努力は報われるとゆうことであ。

ぼくたちチームはKAMIJIMAは去年

年の大会では、伊豆大島と対戦して2-0で

負けて初戦敗退でした。その日から毎日遅く

まで練習し、総体の地区予選では2回戦敗退

でしたが、^{離島}島甲子園では優勝という最高の

結果で終あることになりました。今大会の優

勝で先輩たちが努力は報われるというのを

証明してくれました。

上島町立岩城中学校

11月11日

来年は、ぼくたちが主役ですが、部員が少

ないため出れるかどうか分かりません。です

が、来年の新入生の男子3人の中から一人で

も野球部に入れてハズ大会に出れるように

したいです。また、先輩たちが作った優勝旗

を持っていかれないようにしたいです。

二年 宮脇 史弥

僕の今年の離島甲子園は二回目です。去年はスタメンで出られず、おつとヤンチでした。今年もスタメンで出てし、かりチムムの役に立とう。と思つて奮みました。一回戦目は三宅島でした。大差で勝つたもののぼくは何もできませんでした。今まこやつてきたことは何だ。たんだらう。

上島町立岩城中学校

上島町立岩城中学校

か。これじゃ活躍するところか足を引。は。ていふだけだ。と心の中で叫んでいました。次の試合は必ず何とかしようとしてより心を引き締めてかんぱりしました。次の試合は西ノ島でした。この試合はヒッ人をし本打つて出塁できました。すこくうれしかつたです。僕は次の試合を全てをかけました。相手は強豪の壺岐でした。6回まで10のままで進み7回ノアウト1塁の大事な場面で回つてきました。これほどきん

ちようした打席はないというふうに入ります
 した。一球目は後ろに飛ばしてしまいました
 次決めなまきと望んだ二球目は、ヒット
 前に転がせました。その送ったランナーが帰
 り一点をもぎ取りました
 あのととき、きりバントを決められたよか
 った
 と心の底から思いました。決勝は雨で両校優
 勝となりました。試合はしたか、たけど、優
 勝できてよかったです。野球教室は、中です

上島町立岩成中学校

上島町立岩成中学校

ることになりました。プロの人か教えてくれ
 るので、すぐおに響きました。来年の八丈島
 でもいい結果が残せるようかんはりたいです。

離島甲子園の感想

岩城中

二年

西本

博亮

三年生最後の公式戦が終わりました。他の
チームも終わり。試合をする相手がなくなり
実戦を長い間離れていました。そんな時助け
てくれたのが体協の人でした。試合をしてく
れました。感覚を戻してくれた体協の人に感
謝です。
それから数日後、離島甲子園がありました。
上島で開さいされたので、旅の疲れもなく、

スツキリして試合にのぞめました。僕は骨
折して出れなかつたけど、一回戦は先
ばいたちがかんばってくれたので、勝つこと
ができました。三回戦のいきどの試合は、投
手戦でした。チャンスをいくつもつくられな
から、投手の伊織さんかおさえてくださいました。
バツクもベンチもすごく盛り上がり、いい
雰囲気でした。対ひでむかえた最終回、今
まで二塁に送ったことかないのに、エライと
バントで二塁に送られました。地域の人のための

離島甲子園を終えて

澤田 俊

今回の離島甲子園を通して感じたことは

地域の方々に支えられ、いろいろなことの大きさは

素晴らしい先ほども、たことのプロシミア

です。

今回の大会は上島町が主催の地元のいろいろなこと

で、たくさんの地元の方々が協力してくれました

た。グうりンドの準備や運営。とてもあり

がたく思うとも、とても力になりました。

そして応援に来て下さったみなさんに感謝し

たいと心から思いました。

そして優勝したと同時にとても素晴らし

い先ほども、たことにもなりました。今の

新チームは、今年の今より強いのチーム

です。昨年のチームは、総体もNTTも一回

戦敗退という結果でした。しかし、そんな

チームが離島甲子園では優勝できました。

それは負けるといってやれなかった練習し

たからだと思います。僕たちは新人戦で勝

離島甲子園

松岡 航輝

八月十八日から二十一日までの三日間で全国各地から上島町をふくむ十九チームが上島町に集まりました。この時ぼくは二三日後に起きる事を想像もしていませんでした。

十八日、弓削中グラウンドで軽く練習をして、夕方組合あせ抽選会が行なわれました。各チーム代表のキャプテンがステージに上がり、くじを引いていき、対戦チームが次々に決ま

上島町立岩城中学校

上島町立岩城中学校

っていきました。この時、すぐドキドキしました。一回戦は三宅村になりました。

十九日、三宅村と対戦しました。上島は初回から点を取って、一回戦を大量得点で圧勝で二回戦にコマを進めました。二十日の二回戦も順調に勝って準決勝に進みました。同じく午後に高崎市と対戦しました。準決勝は

まきに手に汗にぎる勝負でした。上島はぼくをたえでぎたえて両チーム得点がおののまま最終回の7回に入っていきました。そして最

終回、ヒットでランナー二塁で田名後さんのセクター前のヒットでセ一回について一点を取り決勝戦に進みました。

八月二十一日、生名スポレク公園で決勝戦が行なわれました。雨が降っていて、時に強くなったり、弱くなったりといて、グラウンドコンディションが悪くなりプレー続行が不可能な状態になり、両校優勝となりました。歯がゆい感じですが優勝という事は素直に喜びたいと思います。

上島町立岩城中学校

「上島町立岩城中学校」

来年の離島甲子園はいい成績を残して今年度の優勝に続けるようにしたいです。

離島甲子園の感想

岩城中 一年 林 秀吉

初めての離島甲子園はわからないことか少しあったけど楽しかったです。一番心に残ったことは優勝したこと、たくさん元プロ野球選手が来てくれて野球教室をしたことです。優勝したときは有言実行な先輩たちはとてもすごいなと思います。村田兆治さんたちは教え方も上手なのでやっぱりプロの人は違うなと思いました。

Teacher's Input

11月13日(木) 11月13日

僕はこの離島甲子園に参加してみても、もう三年生になるまで出すと出たいという気持ちになります。そのためにはやっぱり部員が必要ですね。来年は大丈夫だけど、来年は足りなくなってしまうので来年の離島甲子園でも今年のようにいい結果を残してほしいなと思います。もらえるようにがんばりたいです。今年の離島甲子園はとても楽しかったです。いい経験になりました。先輩たちはすごいな、ととても思ったので来年は逆に後輩にすごい

ちと思わせるプレーをしたいです。これから
もすごい先輩のようになるために毎日がんば
っています。

上島町立岩城中学校

上島町立岩城中学校

離島甲子園では、先輩たちがどれだけ真剣
 に練習をしたか伝わってきました。そして、
 三回戦めでは、ねばってねばって最終回で、
 一点をとって勝って本当に良い試合でした。
 次の決勝戦では、小技などでランナーを三
 時までおくってスクイズでアウトになっ
 ても、まっただけでその後も、ムードはこ
 ちも良かったけれど雨天中止という残念
 でした。関係者の方々には雨の中、本
 当にお世話にな

ト等町立中学校

りました。そして離島のチームのみなさん
 も遠い所からきてくださったってあり
 がとうございました。来年は、八人と少
 ない部員で合同を組んでくださる宮
 くんぼの六人という少ない部員で勝
 てるチームになつていきたいです。そ
 して、十月に入ると、練習もたんだん
 きつくなってくると思います。そして、
 先輩たちのように、がんばりたいです。
 そして、今年の離島甲子園のよう
 な有終の美を飾りたいです。この離
 島甲子園では、ベンチで観て

いて、先輩たちにもまたたくさんお話を教えてもらいました。中備や打撃、ねばり強さなど、みていともすごいのが伝わってきました。今年も東北大地震がありました。なので、この離島甲子園での試合でもよくても元気をおくれたらいいなと思います。地元の大会で優勝という結果を残せたので、来年もチーム一丸となり、チームの為に何かできるように練習をたくさんやっておきたいです。そして、練習をきちんとなら果たせるようにしたいです。

来年も、思い出になつたらいいなと思います。

離島甲子園の感想

澤田 奈津季

開会式の時、周りのチームをみてすごい強
 そうなチームばかりだなと思いまわりました。でも
 まさか、その中の頂点にまで登りつめるとは
 思いませんでした。
 一回戦は、離島甲子園での初めての試合だ
 ったのでとても楽しみでした。一打席目のセ
 ンターポイントからはいまり、次々と打って
 てびっくりました。頑張って、いる先は、遠

上島町立岩城中学校

上島町立岩城中学校

をみて、いると、自然と自分も声が出てきました
 た。このまでの点差で、勝つ試合は初めてでし
 た。二回戦目は一回戦目の勢いで、三回戦目
 をつなぐで、勝って上がってきたのです。二回戦目
 勝てた事です。ごくうれしかつたのです。が、三
 回戦目の売岐との試合は、おとあさ水が、
 だつた。最後の少しのチャンスをと、点につ
 だげ、た時には、とびあがるほどうれしかつた。
 です。まさか、優勝までつぼの売岐に勝つとは
 予想してなかつたのです。勝つて、いるのは、

みんなにうれしいものなんだと思われました。
決勝はあいにくの雨で中断してしまっ
た。試合には、出れなかつたけど、か
り声を出せたのびやかだったと思
います。また、全
国の離島で野球をしていようと、交
流できてとても楽しかったです。野
球の仕方をも各県に
よってそれぞれやり方があるんだ
なと思ひました。今回の離島甲子
園で色々な体験ができました。采
丹もまた離島甲子園に出場場で

上高町立岩城中学校

上高町立岩城中学校

たうりして思ひます。